

『環境保全等に対する取組み』

1. 省エネに対する取組みとして新築建替えた本店の他に一部の支店では、消費電力が少なく長寿命のLED照明を採用し、それ以外の支店においては省エネタイプの蛍光灯、高効率反射板「レフボ」を採用して省エネに努めております。更なる省エネに対する取組みとして、全店のLED照明化を決定し、順次、LED照明への切替工事を進めてまいりましたが、令和6年8月最後の切替工事が完了し、全店LED照明化となりました。



2. 各自治体において交通量の緩和や環境への配慮等を目的とし、シェアサイクル事業の実証実験を行っております。対象自治体では、市内の各所に電動アシスト自転車のポートを設置して、どのポートからでも、一つの利用アプリで自由に利用が可能となっています。当金庫は環境に配慮した事業目的に賛同し、川口市内5店舗戸田市1店舗、さいたま市内1店舗(令和6年9月現在)にサイクルポートを設置して事業に協力しています。



ハローサイクリングのHP
<https://www.hellocycling.jp/>

『環境問題常識テスト』

★以下の問題にチャレンジして、環境知識レベルをチェックしてみてください。

〈答えは3面の最下段に掲載〉

1. 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第6次統合報告書によると2011~2020年の世界平均気温は産業革命前から何℃上昇している。

a. 1.1℃ b. 1.5℃ c. 2.0℃ d. 4.0℃

2. 2023年6月、飼育はよくても野に放してはいけないなどのルールがある「条件付特定外来生物」に指定されたのはアカミミガメと何?

a. カミツキガメ b. アライグマ c. テキサスヒキガエル d. アメリカザリガニ

3. 2023年6月に政府が閣議決定した年次報告書。環境問題の全体像を示すため3つの白書を1冊にまとめている。それは環境白書と循環型社会白書と何?

a. 生物多様性白書 b. エネルギー白書 c. 森林・林業白書 d. 食料・農業・農村白書

4. 自然災害や非常事態などで事業が万が一の危機的状況に遭ったとき、どのような行動をとればよいか事前に決めておくこと。その計画を何という?

a. ESG(環境・社会・企業統治) b. SDI(戦略防衛構想) c. BCP(事業継続計画) d. VR(仮想現実)

【環境市場新聞：R5 秋季第74号・冬季第75号より転載】

『環境保全等へ向けた商品』

カーライフプラン



*自動車(新車・中古車)オートバイ・自転車の購入費用をはじめ電気自動車用充電設備の購入・設置費用のお支払等にご利用いただけます。

安心リフォームプラン「一家団欒」



*太陽光発電やエコ仕様の設備購入・設置・修繕、オール電化システムのリフォームにご利用いただけます。

SDGsサポートローン「GOALS」



*埼玉県SDGsパートナー制度に登録した方または登録申請をした方を対象に、金利を優遇した事業者向けの融資商品です。(埼玉県内4金庫合同企画)

 川口信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/ksb/>

〒332-0017 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号
TEL.048-253-3333 FAX.048-254-2665

このパンフレットは環境に配慮し、世界の森林資源の責任ある利用を保障する「FSC®認証紙」にベジタブルインク(植物油インク)で印刷されています。



第18号
令和6年11月発行

かわしんの 環境活動報告書



撮影場所：見沼田んぼ
撮影者：大和田保夫(土呂支店取引先)

かわしんは省エネ・温暖化対策等に積極的に取組み、環境保全活動を実践しています。

 川口信用金庫

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

SDGsとは、国連が定めた「誰一人取り残さない」持続可能な開発目標であり、17の目標と169のターゲットがあります。



「かわしん」は地域の未来につながる経済発展と環境保全に貢献する信用金庫を目指しています。

みなさん、こんにちは。

今年の夏は、猛暑に加えて全国各地で集中豪雨による大規模な水害に見舞われました。7月には九州各地や東北地方、9月には震災の傷跡が残る能登半島石川県にて記録的な大雨による被害が多数発生いたしました。また、埼玉県をはじめ関東地方でもゲリラ豪雨による浸水や落雷による被害に遭われた方が数多くいらっしゃいます。被害に遭われた方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

年々深刻化するこうした異常気象は、地球温暖化による大気中の水蒸気の量が増加していることが原因とされています。地球温暖化は、温室効果ガスの排出増加が大気中の二酸化炭素濃度を高め、地球全体の気温を上昇させています。この結果、日本の夏はますます過酷なものとなり、農業や水資源管理、エネルギー消費などに多大な影響を与えます。

この様な地球温暖化に伴う異常気象の影響が懸念される現況下、川口信用金庫は令和2年4月にSDGs宣言を行い、持続可能な開発目標のひとつに「環境保全」を掲げ、電力使用量の削減・紙や廃棄物の圧縮等によりCO₂の発生を減少させる「環境負荷低減活動」の推進や、「埼玉県彩の国みどりの基金」への寄附を通じた緑化推進、また、金融機関としての本来業務を通じて、環境に配慮した活動を行っている企業や個人のみなさまに対して環境関連の金融商品を提供するなど、社会的責任の一つとして環境問題に取り組んでおります。

川口信用金庫は今年の3月に創業100周年を迎え、次の時代に向けて新たなスタートを切りました。今後も地域金融機関としての事業活動を通じた「環境保全」をはじめとする「持続可能な開発目標」に寄与する取組みを「環境報告書」などでご報告して参りますので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年11月

会長
木村 幹雄



理事長
飯田 雅弘



環境方針

I. 基本理念

川口信用金庫は、「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に貢献する」を経営の基本とし、協同組織による地域金融機関としての社会的使命と公共的使命を自覚し、全役職員が一丸となって地域の発展と環境保全に積極的に取り組みます。

II. 基本方針

1. 当金庫が行う事業活動が、環境に影響を及ぼす要因を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定めるとともに、定期的或いは諸条件の変化に対応し適宜レビューを行い、継続的に改善し、環境汚染の予防に取り組みます。
2. 上記事業活動が環境に影響を及ぼす要因の中で、特に、地域社会への貢献、中小企業経営再建支援、および福祉・環境を大切にす真の地元金融機関を目指した活動に重点を置き、地域社会との連携を強化しつつ環境保全に取り組みます。
3. 環境に関連する適用可能な法的要求事項及び業界行動指針等、その他の要求事項を順守します。
4. 一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、環境マネジメントシステムの効果をあげる為、この環境方針を全役職員、又は当金庫のために働く全ての人に周知徹底を図ります。
5. この環境方針を金庫内外に広く公開します。

私たちの環境目標 令和6年度目標

I. 環境に有害な影響を及ぼすものへの削減取り組み

1	電力の使用	令和6年度の電力使用量を平成21年度比▲24%削減する
2	廃棄物の分別と排出	廃棄物の分別を推進するとともに令和6年度の物件費(別に定める費目)を平成21年度比▲24%削減し排出量の削減を図る
3	紙の使用・廃棄	令和6年度の紙費用を平成21年度比▲24%削減する

II. 環境に有益な影響を及ぼすものへの取り組み

1	既存の環境関連金融商品の拡販
2	新規の環境関連金融商品の企画・開発・販売
3	OA機器の効率的活用
4	コンプライアンス及び信頼性・健全性の確保
5	各種地域貢献活動の立案及び実行
6	環境関連のその他サービスの提供

『緑化推進事業』への協力

1. 金庫創立100周年記念式典にて「彩の国みどりの基金」へ200万円を寄附いたしました。当金庫は、森林の保全整備や身近なみどりの保全・創出を積極的に進めるため、「環境クリーン定期預金」を販売し、販売額の一定割合に相当する額を寄附しております。平成19年(2007年)7月からこれまで26回募集し、販売総額は2,015億円、寄附総額は5,450万円となりました。昨年の寄付を通じて「所沢航空記念公園」に植樹が行われました。
2. 「フラワーロード緑と花でつくる川口の元気!!」のスローガンの基、フラワースタンドの設置に協賛し川口市の緑のまちづくり推進に協力しております。
3. 地域の植栽事業、花壇の整備事業に協力致しました。地元の子ども会や商店会、企業が環境美化活動の一環として行っている植栽や花壇の整備を各支店の職員がお手伝いしました。



『エコライフDAY』への積極的参加

CO₂排出削減や地球環境保全の施策・取組みの推進のため、埼玉県と川口市が取組んでいる「エコライフDAY」にかわしんは参加しています。令和5年12月の「エコライフDAY/WEEK埼玉2023(冬)」には、役職員・家族622人が参加し、281万9777gのCO₂を削減し、令和6年6月の川口市「エコライフDAY2024」には、役職員・家族625名が参加、64万2963gのCO₂削減をはかりました。



『クールビズ・ウォームビズ』の徹底

地球温暖化防止対策として、環境省が提唱する「クールビズ」「ウォームビズ」の実施により電力使用抑制に努めています。具体的には、エアコン稼働の設定温度の遵守や夏の軽装、冬の柔軟な服装の選択等の他に各部店各々の工夫により、CO₂の排出量削減努力を行っています。



『SDGsイナパークかわぐち2023』

令和5年11月イナパーク川口で開催された『SDGsイナパークかわぐち2023』へ参加しました。当日は、SDGsに取組む川口市内の事業所・学校等が集まり、各々のSDGsに対する取組みを紹介しました。当金庫も環境保全をはじめSDGsの様々な取組みを来場者に紹介し、来場者に対して環境に配慮した紙製のファイルを配りました。



令和5年度の事業活動・環境活動

● 電力とCO₂排出量の削減

基準年の平成21年度の電気使用量315万7822kWhに対して、令和5年度の電気使用量は238万7505kWhと▲77万317kWh・▲24.3%の削減を図っており、前年対比では3万7952kWh・1.6%増加しました。DXの推進による電子機器の増加に伴い電力使用量は増加傾向にありますが、今後も冷暖房設備の稼働状況のきめ細かなチェック等により、更なる節電に努めて環境目標の達成を図ります。

● 廃棄物の削減

事業活動に投入した全ての資源は消費され・廃棄されることから、物品の購入金額から廃棄物全体量を把握しています。削減目標の基準年度である平成21年度(平成22年3月末)比にて、▲3,178万円・▲23.9%減少致しました。前年度比(令和4年度)は1,085万円・12.0%増加しましたが、今後も継続して削減に努めて参ります。

● 紙の使用

削減目標の基準年度である平成21年度(平成22年3月末)比にて、廃棄物全体のうち「紙の使用量」及び「排出量」について検証しました。基準年度比▲2,020万円・▲22.4%減少致しました。前年度(令和4年)比も▲331万円・▲4.5%減少しており、削減効果は持続しております。